



言った言葉は
呑みこむことは
できない



言しゃん
ゆむたや
飲みんきや
ならん



ろくがつ
六月に
ながあめ
長雨が降れば
台風は来ない



ろくがつ
六月に
ながあめ
長雨ふりや
台風や吹かん



一度口から出した言葉は、呑み込
む事ができない。
ものの言い方には充分気をつけ
なければいけない。

言った言葉は
呑みこむことは
できない



ゆむた…言葉



ろくがつ
六月に
ながあめ
長雨ふりや
台風や吹かん

旧六月の日照り時期に雨がたく
さん降れば、作物の出来がよく、
農家は潤う。



てーふ…台風

ろくがつ
六月に
ながあめ
長雨が降れば
台風は来ない

取り札(共通語)

は

話上手に

なるよりも

聞き上手に

なれ

取り札(島口)

は

話上手

なりゆんくま

聞き上手

なれい

取り札(共通語)

に

二度ある事は

三度ある

取り札(島口)

に

二度あん事や

三度あん

読み札(共通語)

は

話上手なりゆんくま

聞き上手なれい

話し上手になるよりも、人の話をよく聞くことに心がけよ。

読み札(島口)

は

話上手に

なるよりも

聞き上手になれ

なりゆんくま…なるよりも

読み札(共通語)

に

二度あん事や

三度あん

物事は繰り返り返し起こる傾向があるものであり、災難などは重なることがあるので用心が必要である。

読み札(島口)

に

二度ある事は

三度ある

あん…ある

取り札 (共通語)



間違まちがった事ことは
してはいけない

取り札 (島口)



ほーぬねん事くとうや
しやいきやん

取り札 (共通語)



下手へたから習ならって
上手じょうずになる

取り札 (島口)



下手へたらがどう
習ならてい上手じょうず
なりゆり

読み札 (共通語)



間違まちがった事ことは
ほーぬねん事くとうや
してはいけない
しやいきやん
人の道にはずれたことや迷惑に
なることはしてはいけない。

読み札 (島口)



間違まちがった事ことは
してはいけない
ほーぬねん…間違まちがった
でたらめな

読み札 (共通語)



下手へたらがどう習ならてい
上手じょうずなりゆり
始めからから上手な人はいない。
何事も努力と練習を重ねて上達
するものである。

読み札 (島口)



下手へたから習ならって
上手じょうずになる
習ならてい…練習

と

遠くとおの親戚しんせきよりも
近くちかの他人たにんが
たよりになる

と

遠とさん
親戚きょうでくま
近ちかさん他人たにん

ち

他人たにんを笑わらう人ひとは
自分じぶんが笑わらわれる

ち

他人たにん笑わらゆん
人ちゆどう
自分じぶん笑わらい

と

遠とさん親戚きょうでくま
近ちかさん他人たにん
いざという時は遠くに任んでいる
親類より、近くの他人のほうが頼
りになるものだ。

と

遠とくの親戚しんせきよりも
近ちかくの他人たにんが
たよりになる
きょうで…親戚
ちゆ…他人

ち

他人たにん笑わらゆん人ちゆは
自分じぶんが笑わらわれる
他人をあざけり笑ったり、陰口を
言ったりする人は、自分が笑われ
るようになる。

ち

他人たにんを笑わらう人ひとは
自分じぶんが笑わらわれる
ちゆ…他人
ちゆ…人
どう…自分



料理は塩かげん
ご飯は火かげん



料理や塩かげん
飯や火かげん



泥棒は一かつぎ
火事は全部を失う



盗人や
一かたむい
火事や
あんかり



料理や塩かげん
飯や火かげん

料理は塩かげんが大事で、ご飯は火かげんが大事。何事も加減が大事である。



料理は塩かげん
ご飯は火かげん

ましゅ…塩
まつつ…火



盗人や一かたむい
火事やあんかり

泥棒に入られても盗られるものは一かつぎですむが、火事は全てのものが灰になってしまう。



泥棒は一かつぎ
火事は全部を失う

ちゆかたむい…一かつぎ
あんかり…全部

取り札 (共通語)

る

留守する時は
火の始末

取り札 (島口)

る

留守しゆん時や
火ぬかんご

取り札 (共通語)

を

夫は妻のおかげ
妻は夫のおかげ

取り札 (島口)

を

夫や妻うかぐえ
妻や夫うかぐえ

る

留守しゆん時や
火ぬかんご

家を空ける時は何よりも火の始末
が大事である。

る

留守する時は
火の始末

まつつ…火
かんご…始末

を

夫や妻うかぐえ
妻や夫うかぐえ

夫は妻がいるおかげ、妻は夫がい
るおかげである。
夫婦はもちつもたれつ、支え合う
事が非常に大切である。

を

夫は妻のおかげ
妻は夫のおかげ

をうとう…夫
とうじ…妻

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

取り札(共通語)

わ

自分じぶんに思いおもやりの
心こころがあれば
他人たにんにも思いおもやりの
心こころがある

取り札(島口)

わ

我心わんこころぬ
あれあれいばどう
他人ちちゆぬ
心こころだかあり

取り札(共通語)

か

かわいこい子こには
他人たにんの飯めしを
食たべさせろ

取り札(島口)

か

かなかん子くわにや
他人ちちゆぬ飯みし
食かますい

読み札(共通語)

わ

我心わんこころぬあれあれいばどう
他人ちちゆぬ心こころだかあり
思いおもやりの心こころがあれば、他人たにんからも
情なさけけをかけられる。
お互たがひい思いおもやりの心こころが仲良なつかくする
もと。

読み札(島口)

わ

自分じぶんに思いおもやりの心こころが
あれば他人たにんにも
思いおもやりの心こころがある
わん…自分
ちちゆ…他人

読み札(共通語)

か

かなかん子くわにや
他人ちちゆぬ飯みし食かますい
子どもを立派りっぺいに育そだてるには、きび
しさを体験たいけんさせた方がよい。

読み札(島口)

か

かわいこい子こには
他人たにんの飯めしを
食たべさせろ
かなかん…かわいい
みし…飯

取り札 (共通語)

よ

姿かたちよりも
人は正しい心だ

取り札 (島口)

よ

容姿やいらん
人や肝心

取り札 (共通語)

た

田は田の中
にあり
人は人の中
にある

取り札 (島口)

た

田や田中
人
や人中

よ

容姿やいらん
人や肝心

人は姿かたちなどの見かけよりも
心持ちや正しい心がけが大事で
ある。

よ

姿かたちよりも
人は正しい心だ

ちゆ…人
きむごころ…正しい心

た

田や田中
人
や人中

田は、田んぼがたくさんある真ん
中の方が、害虫などからまぬがれ
て実りが良いように、人間も多く
の人の中にもまれてこそ立派に
成長するものだ。

た

田は田の中
にあり
人は人の中
にある

ちゆ…人

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

取り札(共通語)

れ

お礼れいのし過すぎ
ということはない

取り札(島口)

れ

礼れいぬ
し過すいぎやねん

取り札(共通語)

そ

育そだちの立派りっぱさは
親おやのおかげ

取り札(島口)

そ

育そだちぬ美きよらさや
親うやうかぐえ

読み札(共通語)

れ

礼れいぬ
し過すいぎやねん
感謝かんしゃの気持きもちちやお返かえしの贈くわり物
など、他人たにんへのお礼れいは、し過すぎる
ということはない。

読み札(島口)

れ

お礼れいのし過すぎと
いうことはない
ねん…ない

読み札(共通語)

そ

育そだちぬ美きよらさや
親うやうかぐえ
心こころも体からだも立派りっぱに成長せいちょうしたのは、親おやのおかげだ。

読み札(島口)

そ

育そだちの立派りっぱさは
親おやのおかげ
きよらさ…立派りっぱさ
うや…親おや

取り札(共通語)



付き合^あうから
親戚^{しんせき}のよう
に
親^{した}しくなる

取り札(島口)



交^つき合^あていど
う
親戚^{きょうで}なり
ゆり

取り札(共通語)



無^ない袖^{そで}は
振^ふることは
でき^ない

取り札(島口)



無^ねん袖^{すでい}や
振^ふりやならん

読み札(共通語)



交^つき合^あていど
う
親戚^{きょうで}なり
ゆり
人はよい付き合^あいから親戚^{しんせき}のよう
に親^{した}しくなる。

読み札(島口)



交^つき合^あうから
親戚^{しんせき}のよう
に
親^{した}しくなる
きょうで…親戚

読み札(共通語)



無^ねん袖^{すでい}や
振^ふりやならん
袖^{そで}の無^ない着^き物^{ぶつ}では、袖^{そで}を振^ふることは
でき^ないように、実^{じつ}際^{さい}に持^もっ^てい
ないもの(お金)を出^だすことはでき
ない。

読み札(島口)



無^ねい袖^{そで}は
振^ふることはでき^ない
ねん…無^ない
ならん…でき^ない

取り札 (共通語)

な

知^しったかぶ^りは
大^{おお}怪^{けが}我^がの^のもと

取り札 (島口)

な

生^{なま}むん知^しりや
大^{うー}怪^{けい}我^がぬ^ぬ元^{むとう}

取り札 (共通語)

ら

楽^{らく}の^の後^{あと}には
苦^{くろ}勞^うが
待^まっ^って^てい^いる

取り札 (島口)

ら

楽^{らく}し^しゃ^ゃん^ん後^{あと}や
難^{なん}儀^ぎの^の
待^まっ^っち^ちゆ^ゆり

読み札 (共通語)

な

生^{なま}むん知^しりや
大^{うー}怪^{けい}我^がぬ^ぬ元^{むとう}

いかげんな知識や技術で物事を
行くと、大怪我や大失敗のもとに
なる。

読み札 (島口)

な

知^しったかぶ^りは
大^{おお}怪^{けが}我^がの^のもと

なま…いかげん
むんしり…ものしり

読み札 (共通語)

ら

楽^{らく}し^しゃ^ゃん^ん後^{あと}や
難^{なん}儀^ぎの^の待^まっ^っち^ちゆ^ゆり

楽しい事の後には必ず苦しい事がある。逆に苦しい事があればその後には楽しい事がある。
辛抱と努力が大事である。

読み札 (島口)

ら

楽^{らく}の^の後^{あと}には
苦^{くろ}勞^うが待^まっ^って^てい^いる

ししゃん…した
ちゆり…している



物事ものごとは
知りし尽つくすという
ことがない



物事ものごとぬ
知りし果はてやねん



親おやの教おしえは
心こころに深ふかくとめよ



親うやぬ
教訓ゆすいぐとうや肝きむに
染すいむいれい



物事ものごとぬ
知りし果はてやねん
何事も知り尽くすということは
ないものだ。
人の一生は勉強である。



物事ものごとは
知りし尽つくすという
ことがない
むん…物事
ねん…ない



親うやぬ教訓ゆすいぐとうや
肝きむに染すいむいれい
親の言うことや教えることは、
しみじみと深く心にとめておき
なさい。



親おやの教おしえは
心こころに深ふかくとめよ
うや…親
ゆすいぐとう…教訓、教え



良い^よ友達^{ともだち}は
一生^{いっしょう}の宝^{たから}だ



良い^よ友人^{どうし}や
一生^{いっしょう}ぬ宝^{たから}



紬^{つむぎ}織^おりが
上手^{じょうず}なのは
母親^{ははおや}のおかげ



紬^の織^うり上手^{じょうず}や
母親^{あんま}うかぐえ



よい友達^よたちをもつことは、一生^{いっしょう}の宝^{たから}である。

良い^よ友人^{どうし}や
一生^{いっしょう}ぬ宝^{たから}



どうし…友達

良い^よ友達^{ともだち}は
一生^{いっしょう}の宝^{たから}だ



紬^{つむぎ}織^おりが上手^{じょうず}になったのは母親^{ははおや}のおかげです。
親^{おや}には感謝^{かんしゃ}しなさい。

紬^の織^うり上手^{じょうず}や
母親^{あんま}うかぐえ



の…紬
あんま…母親

紬^{つむぎ}織^おりが上手^{じょうず}なのは
母親^{ははおや}のおかげ

取り札 (共通語)

取り札 (島口)

取り札 (共通語)

取り札 (島口)



目当てをもつて
はげめば
苦にならない



思ていはまれいば
難儀も楽



声かけや
あいさつに
お金はいらない



声言葉なん
銭金やいらん



思ていはまれいば
難儀も楽

目標とするものを抱いてしっかり
励めば、難しいことや面倒なことも
苦にならない。



目当てをもつて
はげめば
苦にならない

思てい…目当て、目標
はまれい…はげむ、頑張る



声言葉なん
銭金やいらん

明るく心のこもった挨拶や言葉を
交わすのに、お金は必要ない。
声かけや、あいさつをすることは
人の心を明るくする。



声かけや
あいさつに
お金はいらない

くい…声
じんかね…お金

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

取り札 (共通語)



家いえでの習慣しゅうかんは
外そとでも習慣しゅうかんとなる

取り札 (島口)



家や慣なれどう
外す慣とれな

取り札 (共通語)



蒔まかないたねは
生はえない

取り札 (島口)



蒔まかない種子たねや
生むえらん

読み札 (共通語)



家や慣なれどう
外す慣とれな

家庭で日常的に繰り返される行いは知らないうちに深く身につき、外でもその習慣が現れる。家庭での躰が大事だ。

読み札 (島口)



家いえでの習慣しゅうかんは
外そとでも習慣しゅうかんとなる

やー…家

読み札 (共通語)



蒔まかない種子たねや
生むえらん

種を蒔かなければ花も実もなるはずはなく、収穫があるはずもない。原因がなければ結果はない。努力も何もしないで良い結果は出ない。

読み札 (島口)



蒔まかないたねは
生はえない

むえらん…生えない

取り札(共通語)



災わざわい事ことは
塩しお払はらいした方ほうがよい

取り札(島口)



汚けがれむんや
塩ましゆばらい

取り札(共通語)



舟ふねは舵かじ取とりしだい
家かてい庭ていは主しゆふ婦ふしだい

取り札(島口)



舟ふねや舵かじしで
家やうち内うちや妻とうじで



汚けがれむんや
塩ましゆばらい

汚けがれ、災わざわいなどは、塩しお祓はらいいをして
清きよめるとよい。



災わざわい事ことは
塩しお払はらいした方ほうがよい

けがれむん…災わざわい事こと
ましゆ…塩しお



舟ふねや舵かじしで
家やうち内うちや妻とうじで

舟ふねの向むかきが舵かじできまるように、
家かてい庭ていは妻めの気き配はいりに寄よるところが
大おほきい。



舟ふねは舵かじ取とりしだい
家かてい庭ていは主しゆふ婦ふしだい

やうち…家かてい庭てい
とうじ…妻め

読み札(共通語)

読み札(島口)

読み札(共通語)

読み札(島口)

取り札(共通語)

取り札(島口)

取り札(共通語)

取り札(島口)



心^{こころ}持^もちは
くわ^{くわ}ずいもの葉^は



心^{こころ}むちや
ば^ばじの葉^は



瘦^やせ牛^{うし}の
子^こども思^{おも}いの深^{ふか}さ



瘦^{えーじやうし}牛^{うし}ぬ
子^{くわ}思^{おも}いぬ深^{ふか}さ



心の持ち方は、くわ^{くわ}ずいもの葉の
ように広く大きく持ちなさい。
広い心を持ちなさい。

心^{こころ}むちや
ば^ばじの葉^は



心^{こころ}持^もちは
くわ^{くわ}ずいもの葉^は
こころ…心
ばじ…くわ^{くわ}ずいも



難儀をして子を育てた親ほど、
子どもを思う心が深いものだ。

瘦^{えーじやうし}牛^{うし}ぬ
子^{くわ}思^{おも}いぬ深^{ふか}さ



瘦^やせ牛^{うし}の
子^こども思^{おも}いの深^{ふか}さ
えーじや…瘦せた
くわ…子ども

読み札(共通語)

読み札(島口)

読み札(共通語)

読み札(島口)



天気てんきの先さきと
人ひとの先さきは
わからない



天気てんきぬ先さきとう
人ちゆの先さきや
わかららん



熱あつは冷さませ
腹はら立だちは堪こえろ



熱あつは冷さませ
立腹ねいたは堪こえろ
堪こねれい



天気てんきぬ先さきとう
人ちゆの先さきやわかららん
天気の変化がわからないように、
人の将来もわからないものだ。
子どもの未来は予測することが
できない。



天気てんきの先さきと
人ひとの先さきは
わかららない
ちゆ…人



熱あつは冷さませ
立腹ねいたは堪こねれい
熱いものは冷ました方がよいよ
うに、腹が立った時には怒りを
おさえ、堪えることが大切である。



熱あつは冷さませ
腹立はらだちは堪こえろ
ねいた…腹立ち
こねれい…堪えろ

取り札(共通語)

取り札(島口)

取り札(共通語)

取り札(島口)



砂糖と大島紬は
奄美の宝



砂糖と
紬や島ぬ宝



今日は他人事でも
明日は我が身



今日や他人ぬ上
明日や我ぬ上



砂糖と大島紬は
奄美の宝

黒砂糖も大島紬も奄美の大事な
産業であり、島の宝である。



砂糖と大島紬は
奄美の宝

さた…黒砂糖
の…大島紬



今日は他人ぬ上
明日や我ぬ上

人生は、どんな運の巡り合わせが
あるかわからない。
今日は他人事と想っていた災難も、
明日は我が身の上に降りかかって
くるかもしれない。



今日は他人事でも
明日は我が身

ちゅ…他人
あちゃ…明日
どう…自分(我)

読み札(共通語)

読み札(島口)

読み札(共通語)

読み札(島口)

取り札 (共通語)

取り札 (島口)

取り札 (共通語)

取り札 (島口)



寄り集まって
語るから
親しくなる



寄らてい語れいば
どうかなしや



燃やさない火から
煙はたたない



燃さん火ぬ
煙やたたん



人は寄り集まって語り話すことで、
より親しさを増すものである。

寄らてい語れいば
どうかなしや



寄り集まって
語るから
親しくなる
かなしや…親しくなる



火のないところに煙は立たない
ように、ものごとには必ず原因が
あつて事がおこるものだ。

燃さん火ぬ
煙やたたん



燃やさない火から
煙はたたない
め…燃える
まつ…火
けいぶし…煙

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

読み札 (共通語)

読み札 (島口)



見^みたり
聞^きいたり
物事^{ものごと}の
知^しり始^{はじ}め



見^みしや^り
聞^きちや^りや
物事^{ものごと}ぬ
知^しり始^{はじ}むえ



門^{もん}がふさがれると
家庭^{かてい}は暗^{くら}くなる



門^{じょうぐち}口^{ぐち}ぬ
くさがれいば
家内^{やうち}や暗^{くら}さ



見^みしや^り聞^きちや^りや
物事^{ものごと}ぬ知^しり始^{はじ}むえ
見^みたり聞^きいたりする事は、習^ない事
の始^{はじ}まりである。



見^みたり聞^きいたり
物事^{ものごと}の知^しり始^{はじ}め
むん…物事



門^{じょうぐち}口^{ぐち}ぬくさがれいば
家内^{やうち}や暗^{くら}さ
いつも門を閉めている家庭は、人
の出入りも少なく暗いものだ。
人の出入りが多いほど家庭は明る
くなる。



門^{もん}がふさがれると
家庭^{かてい}は暗^{くら}くなる
じょうぐち…門
やうち…家庭

取り札 (共通語)



縁のつながりは切れても
血のつながりは切れない

取り札 (島口)



縁ぬ道や
切りていん
血ぬ道や
切ららん

取り札 (共通語)



広げた手にこそ
物は載せられる

取り札 (島口)



広ぎいん手なんどう
物や載すいられいん



縁ぬ道や切りていん
血ぬ道や切ららん

他人との縁は疎遠になっても、血の繋がった親類との縁は切ることはできない。
親戚の縁は大事にしたいもの。



縁のつながりは切れても
血のつながりは切れない
切りても…切りていん
切ららん…切れない



広ぎいん手なんどう
物や載すいられいん

広げた手のひらにこそ物がたくさん載せられるように、やる気のある人には教え甲斐があるものだ。



広げた手にこそ
物は載せられる

ひるぎいん…広げた
むん…物

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

読み札 (共通語)

読み札 (島口)

取り札 (共通語)



得とくする事ことよりも
ものを大事だいじにしる

取り札 (島口)



儲もうけりゆんくま
始末しまつすいれい

取り札 (共通語)



大工だいく仕事しごとは
大きおおきな道みちで

取り札 (島口)



大工せつくや大道端ふーみちばた

読み札 (共通語)



儲ける知恵も大切だが、物を大事にすることも大切である。

儲もうけりゆんくま
始末しまつすいれい

読み札 (島口)



得とくする事ことよりも
ものを大事だいじにしる
もうけりゆん…得する

読み札 (共通語)



大工や技術のいる仕事は大きな道のほとりなどですると、他人からの教えもあり技が高まるものである。
物作りの技は人前で磨くとよい。

大工せつくや大道端ふーみちばた

読み札 (島口)



大工だいく仕事しごとは
大きおおきな道みちで
せつく…大工
ふー…大きい



怠け者^{なまもの}は
重い荷物^{おもにもつ}を持つ^も



怠者^{すいねいふりむん}ぬ
重荷^{うぶに}持ち^むち



怠者^{すいねいふりむん}ぬ
重荷^{うぶに}持ち^むち

怠け者ほど一度に重い物を持った
りして、怪我をしたり、無駄や失
敗をするものである。



怠け者^{なまもの}は
重い荷物^{おもにもつ}を持つ^も

すいねいふりむん…怠け者
うぶに…重い荷物